

## ■「効果の見える治水事業」

### 愛媛県 こくぼ 石応海岸高潮対策事業

#### 『石応海岸 高潮対策事業で砂浜が平成20年に完成』

愛媛県南予地方局建設部長 みよし つぎお 三好 次男



#### ■事業の概要

石応海岸は、四国の西南部、宇和海にのぞむ宇和島市のほぼ中央に位置し、石応漁港の西側にある延長1,000mの海岸です。

当海岸の一部には緩傾斜階段護岸が整備され、足摺宇和海国立公園を展望できる自然豊かな海岸として、市民に、また特に海岸の直背後に位置する石応小学校に親しまれている海岸です。

しかし、平成5年の台風による越波で護岸約300mが被災し、背後の県道が約3ヶ月通行止めになるなど、10年間で被災は3回に上りました。この道路は、半島部に位置する当該地域へ唯一のアクセス道路であり、被災が当該地域の生活にあたる影響は重大なものでした。

当該海岸は、リアス式海岸特有の地形や、前浜勾配が1/10と急峻であるなど災害の危険性の高い地形条件となっており、当時の計算結果では、既設護岸の天端高が約2.2m不足しており、大型の台風等による越波で背後の人家や小学校に甚大な被害が予想されることから、特に小学生の保護者から強い整備要望が出されていました。

計画越波高が2.2mと大きいことや、景観への配慮について検討し、離岸堤と養浜等による対策が有効であると、平成14年度に高潮対策事業として一部に面的防護タイプを採用した海岸整備に着手し、実施に当たっては、安全で良好な海岸空間を形成するという海岸施設としての本来の目的を果たしました。

工事概要は次のとおりです。

【事業概要】  
事業期間 H14～H20  
工事内容  
離岸堤 東側 62m、  
西側 110m  
養浜工 約1万 m<sup>3</sup>  
(110m)  
消波工 65m

#### 位置図



本事業は、平成20年5月に完成し、本来の高潮対策事業としての効果はもちろん、養浜部分は今年の夏、地元小学生たちの海水浴場として利用され、7月には地元住民の感謝の声とともにテレビ報道されるなど好評を得ています。また、本海岸には小学生をはじめ多くのボランティア団体が、砂浜の清掃に参加されており、その美しさを保ちながら、ますます地域住民に愛される海岸になるものと確信しております。

#### 施工前写真



#### 整備後の状況(平成19年撮影)



## □高潮対策と海浜空間

宇和島市長 いしばし ひろひさ 石橋 寛久



当市は、愛媛県の西南部に位置し、5つの有人島と多くの無人島を有している。西は宇和海に面し、北は西予市、東は鬼北町・松野町に、南は愛南町と高知県宿毛市・同県四万十市と接している。東側の鬼ヶ城連山は、標高1千メートル級の山々が連なり、急峻で海岸線付近まで山地が続き、西の海岸線は入り江と半島が複雑に交錯した典型的なリアス式海岸を形成している。また豊後水道をはさんで九州と対している。

美しい宇和海の潮風を受け色づくみかんと、真珠やハマチの養殖筏が整然と並ぶ光景は素晴らしいものです。

現在、当市では、高速道路の建設工事がピークをむかえ、平成23年度末には県都松山市まで直結する予定で、今後は更に、農林水産業の振興や、地域間の交流が活性化されるものと期待しています。

石応海岸の東端に位置する堂崎には、全国にもまれな海浜の樹木が生い茂り、その代表植物はウバメガシであり、700年から800年を経た巨木が大部分である。成長のおそいこの木が老大木となり、幹や枝にはシダ類のヒトツバがまつわりつき、堂崎観音を霊場としての雰囲気をもたらしている。堂崎観音には、源平の戦いのあと、敗れた平家の落ち武者にまつわるあわれな物語りを伝える五輪の塔がまつられている。

石応海岸高潮対策事業の完成により、台風等による越波の被害も解消され、特に小学校への通学の安全が確保されました。また養浜部分は、地元自治会が清掃を行い、当市では初めての人工海浜空間として地域住民に愛されています。

今後も、背後地の保全を期待するとともに、人々の交流の空間となるよう努めてまいりたいと考えています。



地元小学生による海浜清掃



堂崎のウバメガシ